

至：皇海山

ルートは推測

鋸山

ひどい笹藪

残雪期は道が隠れて、
分かりづらい。特に尾
根とは違って、トラ
バース道は尚更である。
残雪上の足跡を頼りに
進んでいくと途中で道
がなくなった。セオ
リー通り、来た道を登
り返した。もう一度、
六林班峠からトラバ
ースをやり直し、事なき
を得た。

六林班峠

残雪期のトラバース
は分かりづらい

鋸山～六林班峠のルートはすごい笹。背の高い笹原でほとんど登山道が分からない状態。峠までは尾根上なので、忠実に尾根上を辿り、六林班峠に着いた。問題はここからである。残雪期のトラバースルートはコースが不明瞭で、雪渓が横たわっていると、どの辺りから入ってよいか判断が難しい。トレースがあったので辿って行くと間違った尾根を下っていた。足跡が鹿のものだと気づいたときには高度約150m下ってしまった。焦った。悔やんでも仕方ないので、セオリーどおり来た道を登り返し、六林班峠まで戻った。もう一度、六林班峠からトラバースをやり直し事なきを得た。(HP参照)

残雪のトラバースルートは不明瞭で、くさった雪は歩きづらい。また沢の横断場所はガレており、思った以上に道が長かった。日没も迫るため、焦ってしまう。しかし、この事例では、「あれっ！おかしい」と思った初期の段階で、セオリー通り来た道に戻ったことがよかった。「当たり前前のことを、当たり前前のように行う。」これは、冷静でないといけない。